

パワーリフト車

取扱説明書

別冊 注文装備品編

よくお読みになってご使用ください。
取扱説明書は車の中に大切に保管してください。



はじめに

このたびはアルミバン S の注文装備品をお買い上げいただき、ありがとうございます。

本書はパワーリフト車を安全・快適にお使いいただくため、パワーリフト車に関して正しい取り扱いを説明してあります。

また、注文装備品はお客様の御注文により異なりますので、お客様のパワーリフト車に該当する装備品のところをお読みください。

- 車両の一般的な取り扱いについては、標準車の「取扱書」（別冊）をご覧ください。
- 販売店で取り付けられた装備の取り扱いについては添付されている取扱書をご覧ください。

「運転者や他の人が傷害を受ける可能性のあること」とその回避方法を下記の表示で記載しています。これらは安全のために特に重要ですので、必ず読んで遵守してください。

 警告	記載事項をお守りいただかないと、生命にかかわるような重大な傷害、事故につながるおそれがあること
 注意	記載事項をお守りいただかないと、傷害、事故につながるおそれがあること

お車のために必ず守っていただきたいことや知っておくと便利なこと、してはならない行為を示すイラストは、下記の表示で記載しています。

 アドバイス	お車の故障や破損を防ぐために守っていただきたいこと お車が故障したときにしていただきたいこと
 知識	知っておくと便利なこと 知っておいていただきたいこと
	してはならない行為

- ・ お車をゆずられるときは次のオーナーのために本書をお車につけておいてください。
- ・ ご不明な点は担当営業スタッフにおたずねください。

CONTENTS (目次)

各部の名称.....	2
------------	---

主要諸元.....	3
-----------	---

リフト能力	3
-------------	---

専用装置、装備の使い方.....	4
------------------	---

プラットホーム〈自動開閉〉.....	4
--------------------	---

プラットホーム操作スイッチ 〈リモコンスイッチ〉.....	6
----------------------------------	---

プラットホーム操作スイッチ 〈ラジコンスイッチ〉.....	7
----------------------------------	---

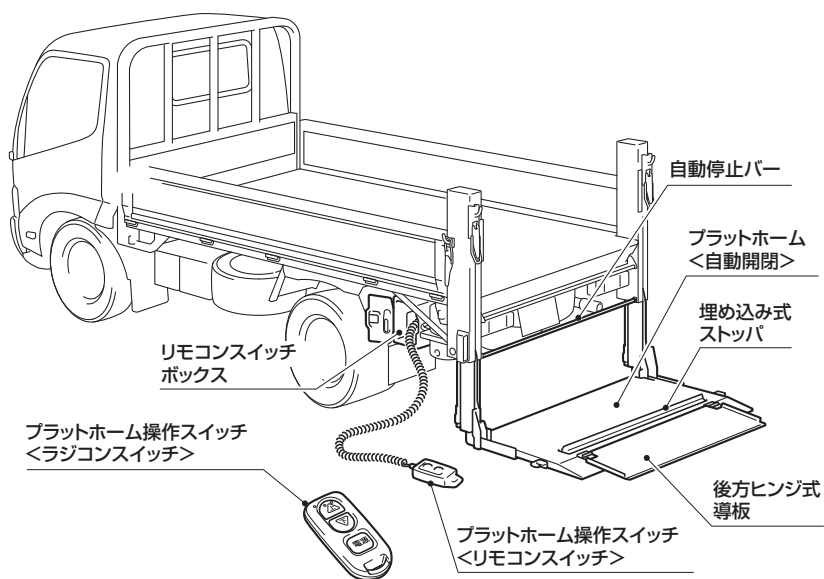
埋め込み式ストッパ.....	11
----------------	----

後方ヒンジ式導板.....	12
---------------	----

2 段折れ.....	13
------------	----

点検・整備項目	15
---------------	----

各部の名称

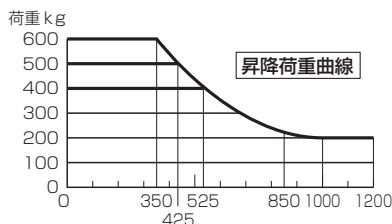


主要諸元

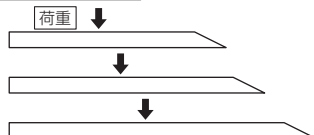
リフト能力

リフト能力は積荷の重さ（荷重）と積荷の搭載位置関係（荷重重心位置）により決まります。プラットホームに積荷を載せ、昇降させるときは、荷重と荷重重心位置が昇降荷重曲線の下側にあることを確認してください。

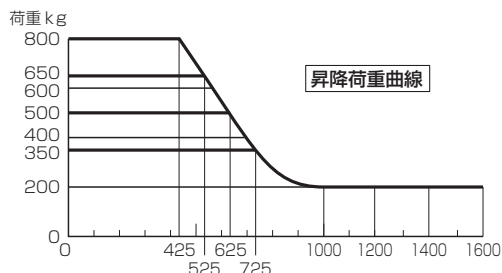
リフト能力600kg



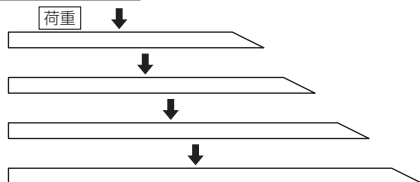
荷重重心位置(mm)



リフト能力800kg



荷重重心位置(mm)



■ 荷物を載せるときは

荷物は必ず定格荷重（下表参照）以下とし、プラットホームの中央部に載せます。

リフト能力 600kg	プラットホーム 長さ (mm) *	850	1000	1200
	リフト能力 (kg)	600	500	400
リフト能力 800kg	プラットホーム 長さ (mm) *	1200	1400	1600
	リフト能力 (kg)	650	500	350

※プラットホーム長さはテーパー長150mmを含みます。

⚠ 注意

荷物を積むときは下記のことを守ってください。荷物が落下するなど思わぬ事故につながるおそれがあります。

- 荷物はプラットホーム前部よりはみ出さないように中央より少し前よりに載せてください。
- プラットホームが水平になっていることを確認してください。水平になっていないと荷物が滑り落ちるなど思わぬ事故につながるおそれがあります。

専用装置、装備の使い方

プラットホーム〈自動開閉〉

■開け方

⚠ 警告

プラットホームを開くときは、リリースポイント（ガイドレールでアームが保持されている状態）になっていることを確認してください。下降途中にプラットホームが急に開き人や物に当たり、重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

- ① ラッチハンドルを上にもわしてロックを解除します。

● プラットホームはリリースポイントまで自然に開きます。

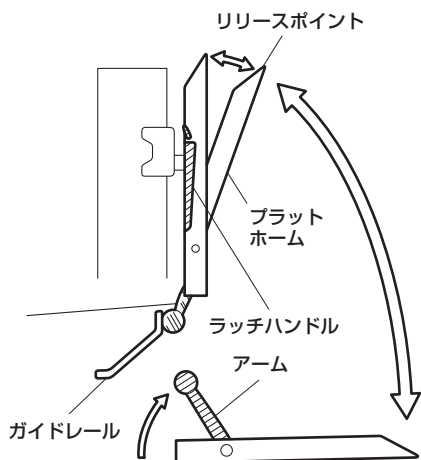
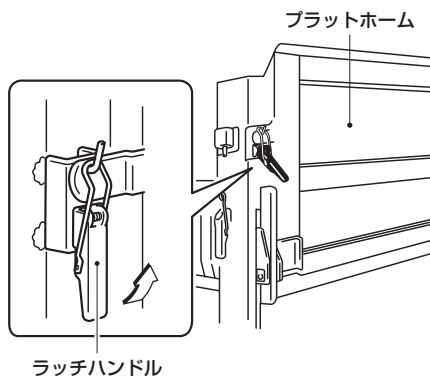
🎓 知識

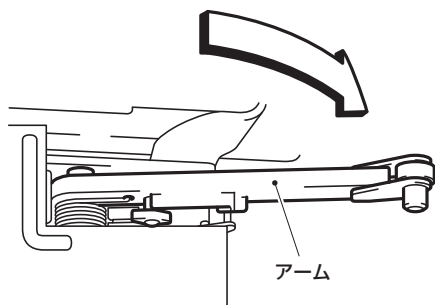
坂路等で自然に開かない場合は、軽く手で押して、リリースポイントまで動かしてください。

- ② プラットホーム操作スイッチの「下降」を押し、プラットホームが水平になり、アームが起きあがるまで下降させます。

⚠ 警告

プラットホームを開けたときは、確実にアームが起きていることを確認してください。アームが起きていないと不意にプラットホームが閉まり、重大な事故につながるおそれがあり危険です。





■閉め方

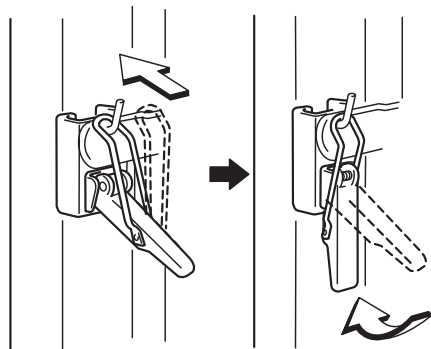
- ① アームを水平まで倒します。
● カチッとロック音がします。

⚠ 注意

アームを水平状態より押しすぎるとアームロックが自動的に解除され、アームが起きあがった状態になりプラットフォームを閉めることはできません。

- ② プラットホーム操作スイッチの「上昇」を押します。
● プラットホームは自動的に起立し、リリースポイントで停止します。

- ③ プラットホームが停止したら、プラットフォームを手で押しながらラッチハンドルを左図のようにかけ、プラットフォームを確実に固定します。



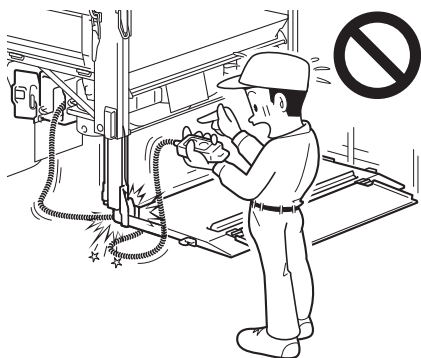
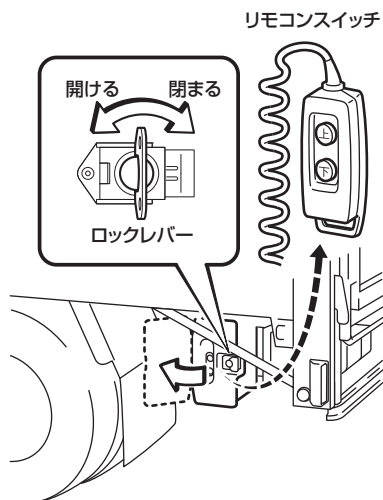
⚠ 警告

- プラットホームを開閉するとき、周囲に障害物がないことを確認し、安全に十分注意して行ってください。プラットフォームが人や物に当たり、重大な事故につながるおそれがあります。
- プラットホームを開閉途中で止めたときは、物をのせるなど、人や物で力を加えないでください。アーム等が曲がるなど、リフト機構が破損するおそれがあります。
- プラットホームの昇降操作をするときは、確実にアームが起きていることを確認してください。プラットフォームが不意に閉まり、荷物が破損するなど思わぬ事故につながるおそれがあります。

プラットホーム操作スイッチ (リモコンスイッチ)

■昇降のしかた

- ①車を水平な場所に止め、必ずパーキングブレーキをかけ、タイヤに輪止めをします。
●エンジンはかけたままにしておきます。
- ②メインスイッチを「ON」にし、プラットホームを開けます。(TECS 標準装備取扱書参照)
- ③車両左側後方にあるスイッチボックスのロックレバーをまわしてロックを解除してカバーを開けます。
- ④リモコンスイッチをスイッチボックスから取り出します。
- ⑤リモコンスイッチの「上」スイッチを押している間、上昇し、「下」スイッチを押している間、下降します。
●スイッチから指を離すとその位置で停止します。
●プラットホームがいっぱいまで下降および上昇したらスイッチから指を離してください。



アドバイス

コラムポストの下側に操作スイッチハーネスを挟まないように注意してください。ハーネス断線およびヒューズ切れを起こすおそれがあります。

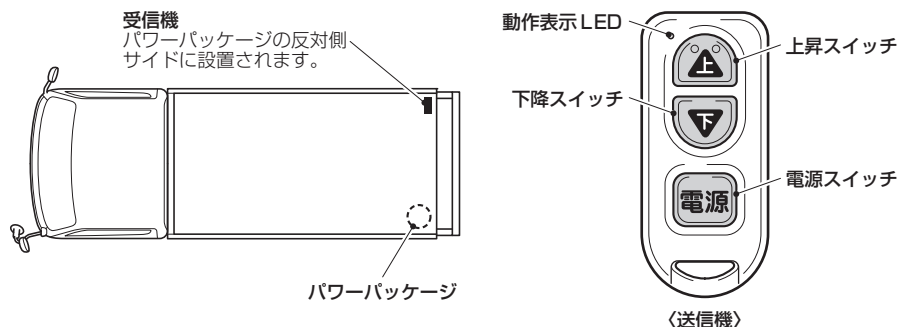


知識

- スイッチの裏面は磁石になっていますので、車のボディの任意の位置に固定することができます。
- 操作スイッチはスイッチボックス内に収納された状態でも操作することができます。

プラットホーム操作スイッチ〈ラジコンスイッチ〉

受信機より半径約 1m の範囲で、プラットホームの昇降操作ができます。



■昇降のしかた

- ①車を水平な場所に止め、必ずパーキングブレーキをかけ、タイヤに輪止めをします。
 - エンジンはかけたままにしておきます。
- ②メインスイッチを「ON」にし、プラットホームを開けます。(TECS 標準装備取扱書参照)
- ③送信機を取り出し、電源スイッチを押します。
 - 動作表示 LED が赤色点灯します。
- ④動作表示 LED が赤色点灯中(6 秒以内)に上昇または下降スイッチを押し続けます。
 - プラットホームは上昇スイッチを押している間、上昇し、下降スイッチを押している間、下降します。
 - 上昇または下降スイッチを押している間、動作表示 LED が緑色点滅します。
 - スイッチから指を離すとその位置で停止します。
 - プラットホームがいったいまで下降および上昇したらスイッチから指を離してください。



アドバイス

- 断続的に下降または上昇スイッチを押さないでください。故障の原因となりますので、スイッチは押し続けてください。
- スイッチの切り替え操作をするときは、約 1 秒以上たってから行ってください。瞬時に切り替えを行うと、リフト装置が故障するおそれがあります。



知識

- 電源スイッチを押してから 6 秒以内に下降または上昇スイッチを押し続けないと、自動的に電源が切れます。(動作表示 LED 消灯)
 - ・下降または上昇スイッチを操作すると、電源はスイッチから指を離れた時点より 6 秒延長します。
- 複数のスイッチを同時に押すと、プラットホームは作動しません。

⚠ 警告

植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器以外の医療用電気機器を使用される場合は、電波による影響について医療用電気機器製造業者などに事前に確認してください。電波により医療用電気機器の動作に影響を与えるおそれがあります。



アドバイス

ラジコンスイッチは電子部品です。故障の原因となりますので、以下の点に注意してください。

- ダッシュボードの上など、直射日光の当たる場所および高温になるところに置かないでください。
- スイッチに無理な力を与えないでください。
- スイッチは鋭利なもので操作しないでください。孔・切り傷等が発生しますと防滴機能が損なわれます。
- 分解しないでください。
- 落としたり、強い衝撃を与えないでください。
- 防滴構造ですが、できるだけ水にぬらさないでください。水たまりなど、水中に落下させると故障します。
- 送信機の清掃にシンナー、ガソリン、ベンジンなどの溶剤を使用しないでください。表面が変形するおそれがあります。清掃するときは水またはぬるま湯を布などに含ませ、固くしぼってから拭いてください。



知識

- ラジコンは周囲の状況により作動可能距離が変わることがあります。
- 周囲の電波状態により、下降または上昇スイッチを押してもプラットホームがまれに停止する場合や作動しなくなることがあります。そのときは、以下のことを行ってください。
 - ・ 立つ位置をかえて操作してください。その際、スイッチは押し直してください。押し続けたまま立つ位置を変えてもプラットホームは作動しません。
 - ・ プラットホーム操作スイッチで操作してください。
- 送信機もしくは受信機を交換したときは、受信機のIDコードを登録する必要があります。登録は販売店にお申しつけください。
- ラジコン操作をしてもプラットホームが作動しない場合や、著しく作動可能距離が短くなった場合、または動作表示LEDが暗くなったり、点滅しなくなった場合、電池の消耗が考えられます。電池を交換してください。電池はお客様自身で交換できます。(次ページ参照)

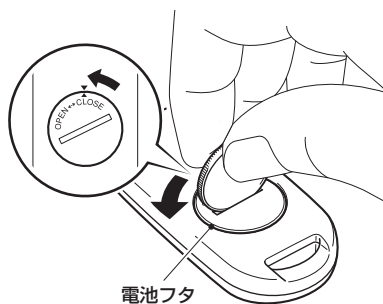
■送信機の電池交換

送信機のスイッチを押しても動作表示LEDが点滅または点灯しなかったり、作動距離が著しく短くなった場合は、電池切れが考えられます。

以下の要領で電池を交換してください。

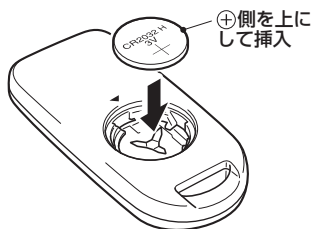
●電池は販売店、時計店、カメラ店などでお求めください。

使用電池.....リチウム電池 CR2032



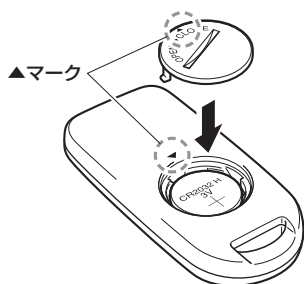
①コインなどを電池フタの溝に差し込みます。

②▲マークが合う位置まで「OPEN」側に回し、電池フタをはずします。



③電池を交換します。

●電池を取り出し、新しい電池の▲側を上にして挿入します。



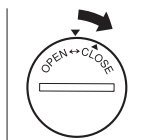
④電池フタと送信機の▲マークを合わせ、電池フタをはめます。

⑤コインなどを電池フタの溝に差し込みます。

⑥「CLOSE」側に回し、電池フタを締め込みます。

⑦作動確認をします。

●電源スイッチを押し、動作表示LED赤色点灯中(6秒以内)に下降または上昇スイッチを押して、動作表示LEDが緑色点滅することを確認します。

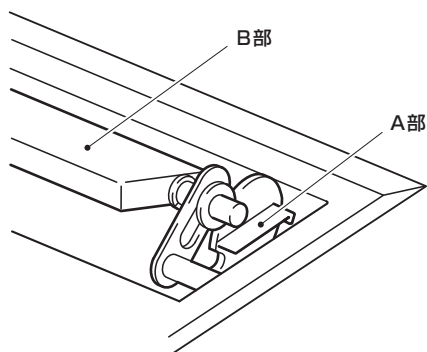


 警告

取りはずした電池や部品を（とくにお子さまが）飲み込まないようにご注意ください。
飲み込むと、重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

**アドバイス**

- 電池交換時には、取りはずした部品を紛失しないようにご注意ください。
- 電池フタを曲げたりしないように注意してください。
- 電池の⊕極と⊖極は必ず正しい向きにして取りつけてください。
- 電池挿入部の電極を曲げたり、ゴミや油などが付着しないように注意してください。



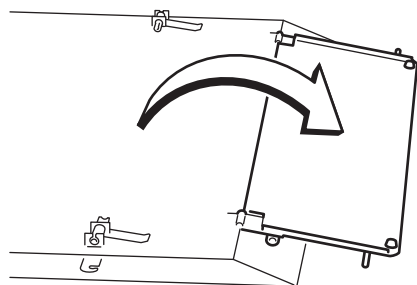
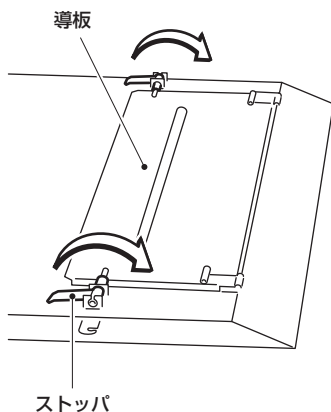
埋め込み式ストッパ

■ 起こし方

A 部ペダル（カム）を押しつけると、ストッパが起きあがります。

■ 格納のしかた

B 部ストッパを押しつけると、ストッパが格納されます。



後方ヒンジ式導板

■ 開け方

- ① 車を平坦な場所におき、必ずパーキングブレーキをかけ、輪止めをします。
- ② ストッパを矢印方向にまわします。
- ③ 導板を後方に倒します。

■ 閉め方

開けたときの逆の手順で行います。

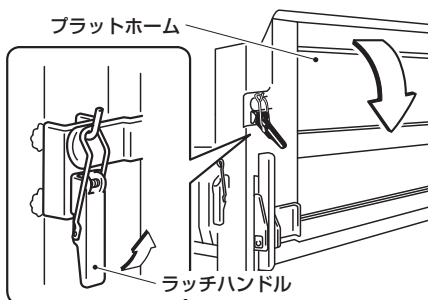
⚠ 警告

後方ヒンジ式導板の開閉はプラットホーム昇降操作時には行わないでください。プラットホームが不意に閉じたり、プラットホームに手や足を巻き込まれてけがをするなど、重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

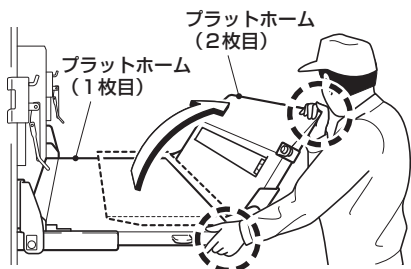
2 段折れ

■ 開け方

- ① 車を平坦な場所におき、必ずパーキングブレーキをかけ、輪止めをします。
- ② ラッチハンドルを上にもわしてロックを解除します。
- ③ プラットホームを開けます。

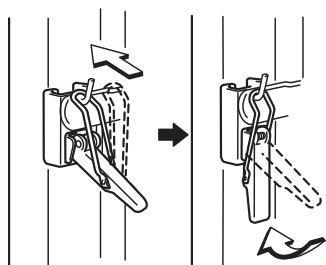
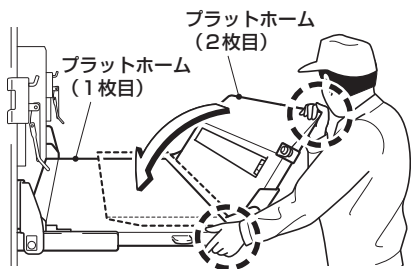


- ④ 1 枚目のプラットホームを押さえながら、2 枚目のプラットホームの先端を持ち、ゆっくり開きます。



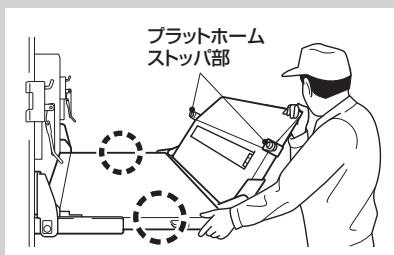
■ 閉め方

- ① 1 枚目のプラットホームを押さえながら 2 枚目のプラットホームの先端を持ち、ゆっくりたたみます。
- ② プラットホームを持ち上げ、手で押さえながらラッチハンドルを左図のようにつまみ、プラットホームを確実に固定します。



⚠ 警告

- 2 枚目のプラットホームストップ部を持って、たたまないでください。また、2 枚目のプラットホームストップ接地部付近（1 枚目のプラットホーム側）に手や足を置いたまま、たたまないでください。プラットホームストップに挟まれ、重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。



- プラットホーム 2 段折れの開閉はプラットホーム昇降操作時には行わないでください。プラットホームが不意に閉じたり、プラットホームに手や足を巻き込まれてけがをするなど、重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

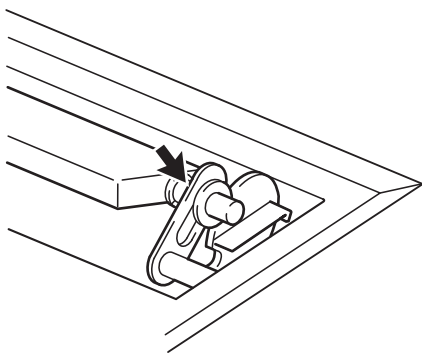
点検・整備項目

故障を減らして長く大切に使うためにお手入れをお願いします。

■給油脂

3 か月に 1 度の割合で下記の箇所にシャシグリースを塗布してください。

埋め込み式ストッパ



MEMO

MEMO

パワーリフト車

適用車種

トヨタ ダイナ、日野 デュトロ



車両の仕様等の変更により本書の内容が車両と一致しない場合がありますのでご了承ください。

〈注文装備品のお問い合わせは下記へお願いいたします〉

商用事業部

TEL (0566) 36-2497 FAX (0566) 36-2498